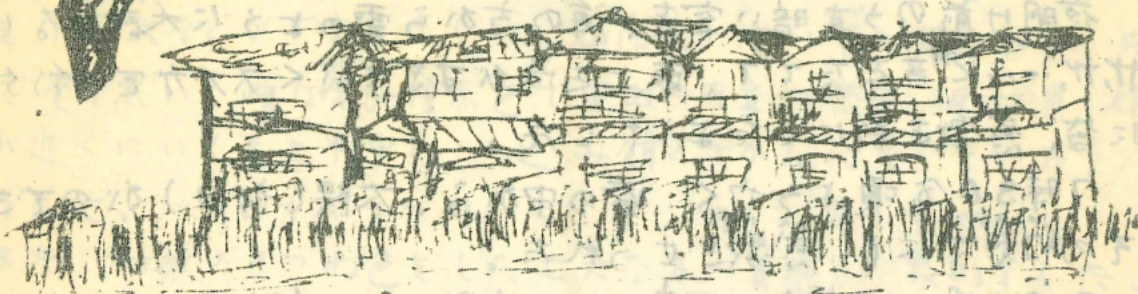


# すすがも 通信 No. 11

1982・2・1

行徳野鳥観察舎友の会会報



北地冬イラスト 田久保

私共、親子で初めてすすがもの飛び立ちの会に参加させていただきました。本能……きわめて動物自らの本能そのものの行為である群の体系、群から群への移りか。これからは、人間の集団のあり方と科学を教えられているような思いをしました。

又すすがもの飛び立つ群の羽音は、トナカイに乗ったサンタクロースに似て、ロマンの思いもあり、自然の貴重さをあらためて思いしらせられました。

・ 長尾 邦彦、朋子 ( )  
'81 12月27日 すすがもの飛び立ちをみる会に参加して



—はおと—"82年を迎えて"

〈田久保晴孝〉

当会の初日とスズカモの帰還をみる会(以)は、天気が入配されたが、雨にはならず、集會場所の塩浜海岸には、鳥好きの方々約200名が集まりました。(いままでの最高)

夜明け前のうす暗い空を、海の方から雲のように大群をなして竹が、...波音をたてて、頭上を飛が過ぎていくスズカモ(約50羽)に皆、感激を新にしたようでした。

7時30分頃ようやく、雲の中から、太陽(初日)がのぞき、その幻想さにも、感激させられた。

8時すぎ、観覧舎の好意で特別開館とした観覧舎で冷えた体を暖めながら、朝日を受けて、のんびり休むスズカモの群をみることになりました。すばらしい82年の初日でした!

去年の観覧舎の利用者は約5万5千人、今年も5万人以上の利用者があると思われます。この利用者の為をもうこれかいろいろなくなっていました。たくさんの野鳥の為にもみなさんの協力で、よりよい観覧舎をついていきましょう

—さえずり(行事報告)

すずかも通信No.10をよんで

〔津田重男〕

すずかも通信No.10を興味深くよみました。

水辺の問題については、今の社会を現る眼として認識をあらたにさせられました。水辺から子供達を隔離すれば良しとするお役所的思考に心からいきどおりを感じます。

さて私は、水辺の鳥を写真のテーマとして、この秋頃から行徳通いをはじめました。観覧舎友の会に入って、いろいろとお話をいただきたいと思っています。

新浜自然観察会に参加して ① 281.11.10

〔小野元昭〕

快晴にめぐまれ期待以上の多くの鳥に会うことができました。セイタカシギや珍しいクロツラヘラサギを見られたのは感激です。新築された観覧舎は設備も完備し、腰をおろしてゆたりと観察出来るすばらしいもので、特に雨や風の強い日などは大いに利用したいと思いました。スズカモが北に帰る前にお一度訪ねたい。

新浜自然観察会に参加して ② 281.12.6 [島村健二]

久しぶりに、新浜の観察会に参加しました。快晴でやや寒かったです。いろいろな鳥が出ました。その中でも一番印象に残った鳥は、北池で始めて見たオカヨシガモです。かなり近くて、はっきり特徴などがわかりました。雄は黒い嘴と灰色がかつた背で尾は黒い。雌は嘴が橙赤色で黒斑の目立つ茶色。尾は黒。雄雌が近くにおいて首を水中につまみ餌させかんにとまっていた。

その他、ハシロカイツブリ、タシギ、セイタカシギなど

また、妙典のきつね色をした大きな冬の葦原も印象的でした。

なお、観覧舎の鳥の病院を見せていただきありがとうございます。アオバト、アカエリヒレアシシギなど始めて見ました。これらの鳥がまた山野、海辺にもどれると良いのですが。

—ジュニアコーナー—

かべしんぶん"カイツブリ" 観察会にやってくる小学生が中心となり、毎月1日発行(けい示)されています。1830現 25号(原、尾、前山他編集)

—自然の国から— ①

"行徳、子集まれ" [田久保文子]

行徳駅より東へ5~7分以内のところに、大小4つの水たまりがあります。(元は湿田や蘆田であつた所)

ここは、四季を通じて魅力のあるところ。行徳の子供達もそのことをちゃんと知っていて、水のぬるむころより、枯葉が散りはじめるところまでは、サリガニ、クネボソツリで、にぎわいます。

もちろん、他にもいろいろと小さな動物達や野草がみられます。私もその水たまりが大好きで毎日の散歩コースになっています。

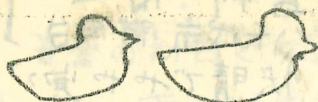
寒い冬の日には、だれもいない水たまりをそと眺めます。うすい氷か、た寒々とした水たまりです。「私がみると寒々として見えるが子供達が見たらどうだろうか?」「どの子もきっと喜んでちかいない!」

「足の先でちよと氷をたたきわかれるかどうかをためしたり、石を投げたり滑らせたり、割れた氷を手にして太陽をすかしてみたり。楽しみはいっぱいあるに違いないが、行徳の子ここに集まれとお願いか?残念なことには私の横には「あぶない車入り禁止!地主市役所の立札か!」

このコンクリートの住宅にすむ行徳の子供達にはこんなさいさ自然が必要か?

3(047)





# 行事案内



だれでも自由に参加できます



## 新浜自然観察会

2月14日(日), 3月14日(日), 4月11日(日)  
(毎月第2日曜日)

集合: 東西線行徳駅広場 9時30分

解散: 観察舎前 午後2時30分

案内 わすかに残されている野田地区の湿地や保護区でカエ、サギ、ヘビシなどの水鳥を中心に観察します。

(午前中は放水路、ハス田を観察し、午後は保護区を観察する予定)

傘、水筒、防寒具などをお忘れなく!

## スライドとお話の会

2月28日(日) 午後1:30~3:00

講師 風呂田利天さん(東邦大学)

テーマ アメリカ西海岸の生き物達

場所 野鳥観察舎1階視聴覚室

風呂田さんはアメリカオレゴン州の国立水産研究所へ1年間留学(研究)し、去年の12月におひえりになりました。

## 標識(バーニング)調査のお話

3月28日(日) 午後1:30~3:00

講師 原島正己、尾谷たけあきさん

テーマ 保護区における標識調査

原島、尾谷さんは、山階鳥類研究所の標識調査の仕事をおひきうけ、保護区で調査をつづけています。その結果の発表をします。

## スズカモの飛ぶたきを見る会

2月14日(日) <今冬最後>

集合 観察舎前 午後5時

## 定例園内ぜん観察会<観察舎前>

2/21, 3/14, 21, 4/11, 25 第3日曜日

集合 観察舎前 午後1時30分

解散 " 午後4時~3

<観察路約3.5km歩きます>

## 観察舎より

開館 午前9時~午後5時; 休館 毎週月曜日、毎月第金曜日及び祝日の翌日

観察舎スタッフ; 館長の三次史雄さん、(月曜日や祝日の時は由緒し、水曜日連休)

宮島君江さん、蓮尾嘉彪、純子さんの4人です。

<本年もよろしくお預り致します。>

パークス  
22%の保護区にクワツバネが  
やがてる。11月に回っている

## 事務局より

今年度の会費をおおさめ下さい。年会費普通1000円 賛助2000円以上  
(観察舎においても会費をおすかしていただきます)ジュニア500円(小、中、高校生)

観察舎において野鳥に関する本、絵はがき、ローゼット 蓮尾さんが作った鳥のブローチなどを販売しています。

観察舎の絵はがき(写真蓮尾嘉彪さん)冬、春(1組4枚-150円)ができました。夏、秋も出す予定です。く観察舎の会発行>よろしく!

## 編集こうき

今年もよろしくお預り致します。(はるあか)  
今年も定期発行をめぐして仕事をしていきたいと思っておりますので、ご協力下さい。まじか、している点、改善したうよい点などをあよせ下さい。カットなどもよろしく

すすかも通信	発行人	尾谷栄
No. 11	事務局	鈴木有希
1982年2月1日発行	編集人	田久保晴孝 好
振替 仙台-6129	観察舎	市川市福栄4の22の11 TEL 473(97)9046
年会費 1000円		